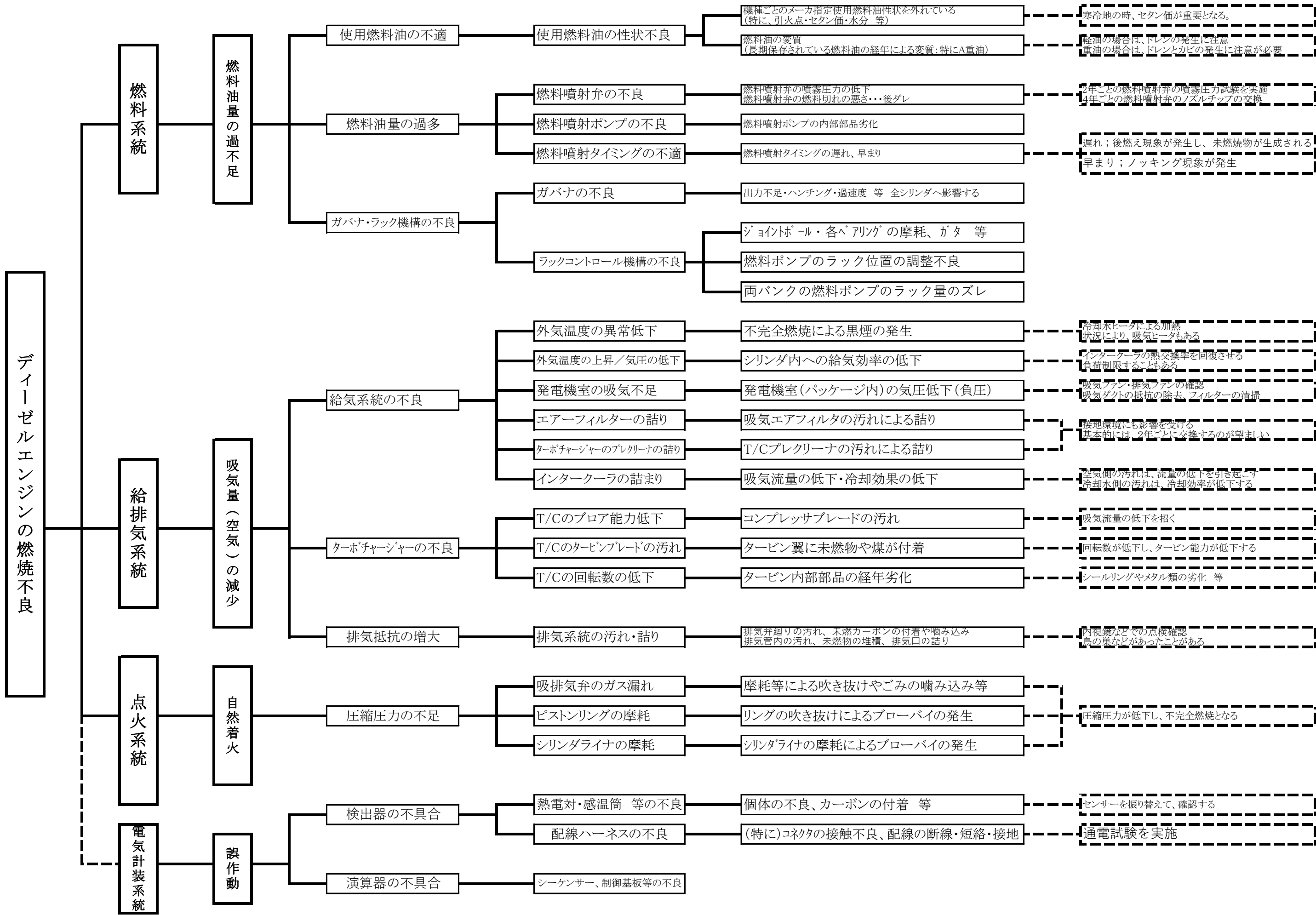


ディーゼルエンジンの燃焼不良 FTA
(失火・排気温度のバラツキ 等)

2023年 8月 作成

株式会社中田エンジン



寒冷地の時、セタン価が重要となる。

軽油の場合は、ドレンの発生に注意

重油の場合は、ドレンとカビの発生に注意が必要

2年ごとの燃料噴射弁の噴霧圧力試験を実施

4年ごとの燃料噴射弁のノズルチップの交換

遅れ；後燃え現象が発生し、未燃焼物が生成される

早まり；ノッキング現象が発生

冷却水ヒータによる加熱
状況により、吸気ヒータもある

インタークーラの熱交換率を回復させる
負荷制限することもある

吸気ファン・排気ファンの確認

吸気ダクトの抵抗の除去、フィルターの清掃

接地環境にも影響を受ける

基本的には、2年ごとに交換するのが望ましい

空気側の汚れは、流量の低下を引き起こす

冷却水側の汚れは、冷却効率が低下する

吸気流量の低下を招く

回転数が低下し、タービン能力が低下する

シールリングやメタル類の劣化 等

内視鏡などでの点検確認

鳥の巣などがあったことがある

圧縮圧力が低下し、不完全燃焼となる

センサーを振り替えて、確認する

通電試験を実施